

Sweets Taste 2017

素材・フレーバーの嗜好動向

報告書

※この資料の図表やデータからの直接の転載はお断りします。
対外的なコミュニケーションの資料としてご活用をお考えの場合は、
本報告書の購入をお願いしております。
購入をご検討の会社等団体の方は、右記宛先までご相談ください。

※各種お問い合わせは、左記連絡先までお願いします。

B·M·FT
BUSINESS · MARKETING · FORESIGHT

株式会社ビー・エム・エフティー

〒107-0062

東京都港区南青山7-4-2 アトリウム青山3F

TEL 03-5466-7190

FAX 03-5466-7191

Email report@bmft.co.jp

(担当) 光岡 (ミツオカ)

〔1〕素材・フレーバーの意向

3分野総合

3分野総合

食べたい意向は、フルーツ・野菜系の「いちご」、和・エスニック系の「きなこ」、洋風系の「バニラ」が今年のトップ。

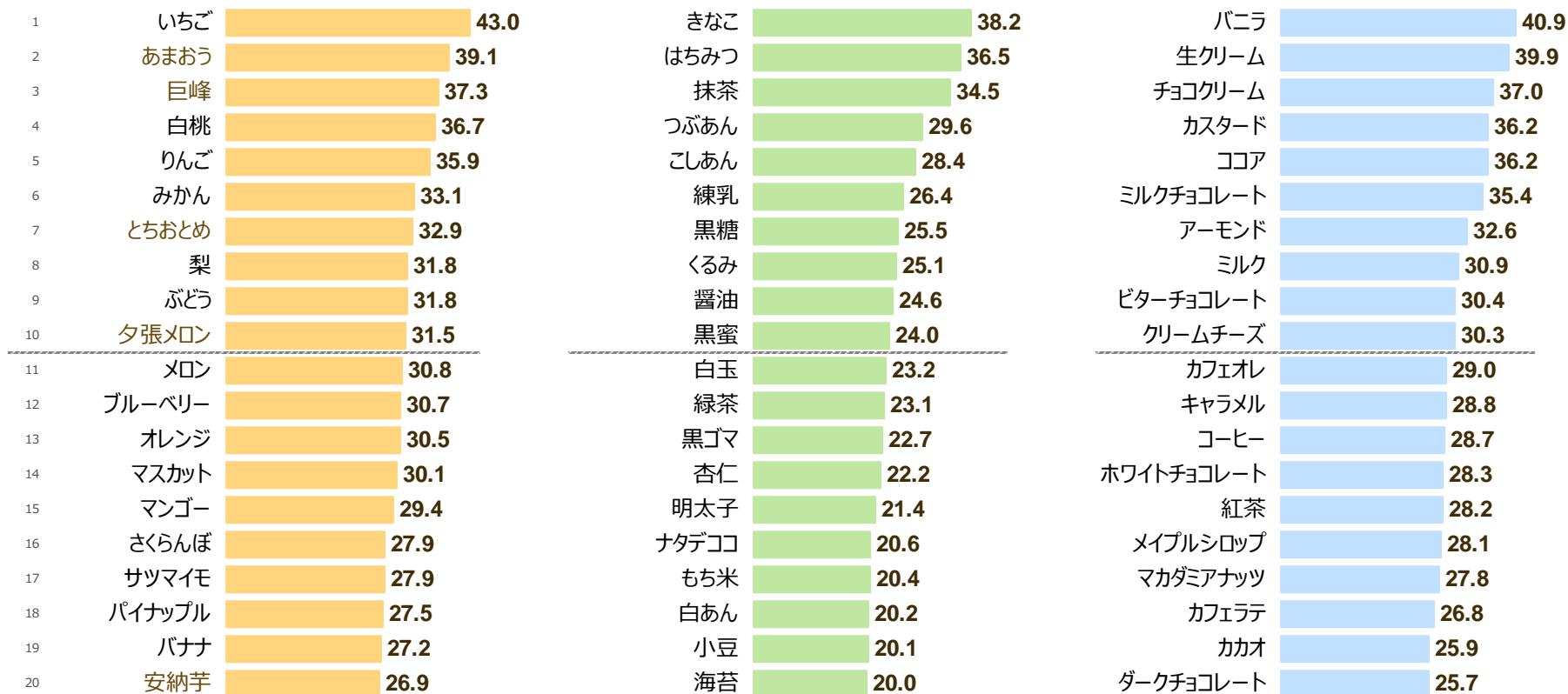
「あまおう」「とちおとめ」に代表されるフルーツ・野菜系の品種アイテムの意向の高さが目立つ。とくに「いちご」は、「いちご」という普通名詞でのリピート意向が非常に高い一方、「あまおう」や「とちおとめ」といった新しい品種名が意向を牽引。「いちご」全体の意向を伸ばしている。

N=1000

フルーツ・野菜系

和・エスニック系

洋風系



※ 茶字は品種アイテム

〔2〕 素材・フレーバー意向の順位変化:長期時系列

3分野総合

3分野総合

TOP30

- フルーツ・野菜系
- 和・エスニック系
- 洋風系

フルーツ・野菜系では、「梨」が上昇、「ブルーベリー」は下がった。

この数年、フルーツ系の「マンゴー」「さくらんぼ」など肉厚系の果物、和・エスニック系の「きなこ」「はちみつ」、洋風系の「バニラ」「キャラメル」は上がる傾向にある。

洋風系の「コーヒー」のほか、「ミルクチョコレート」「ビターチョコレート」などチョコ系はダウン。

